

ダンプホッパ

取扱説明書

ダンプホッパ

BL-170ZT

BL-210ZT

直結バネコン

DB-30~80Z

も く じ

ご使用になる前に

- はじめに…………… 1
- 安全のため必ずお守りください…………… 2
- 各部の名称とはたらき…………… 4
- 使用前の準備…………… 6

ご使用にあたって

- 作業のしかた…………… 11

知っておきたいこと

- メンテナンス…………… 13
- 長期格納のしかた…………… 13
- 不調の原因と処置…………… 14

その他

- 仕様…………… 15
- オプション…………… 15
- 消耗部品…………… 15
- 安全確認一覧表…………… 16

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書には、本機の正しい安全な使い方、保守点検等について記載してあります。
本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、
本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。
なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致
しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご
利用できるようにしておいてください。

■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示してい
ます。

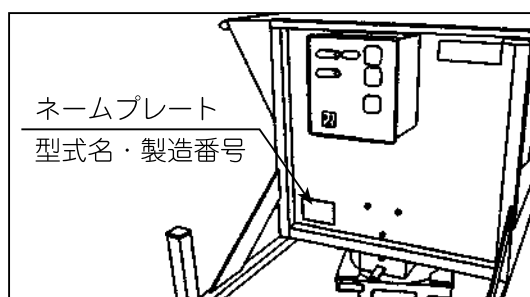
- ⚠ 危険** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
- ⚠ 警告** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものをしめします。
- ⚠ 注意** : 注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示します。
- 重要** : 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
- 補足** : その他、使用上役立つ補足説明を示します。

■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合があ
りましたら、無理に使用せず、ご購入店または
弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせ
ください。

軽い故障でも重大事故につながるることがありま
すので、早期発見に心がけ、早めに整備してく
ださい。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造
番号を必ずご連絡ください。



⚠ 警告

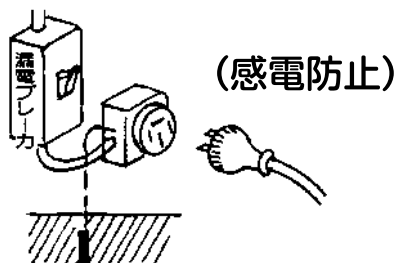
- 本製品は稲もみや麦などの、こく粒搬送用としてご使用ください。
- 使用目的以外の作業や改造はしないでください。

⚠ 安全のため必ずお守りください

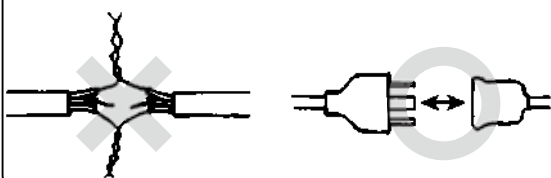
使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

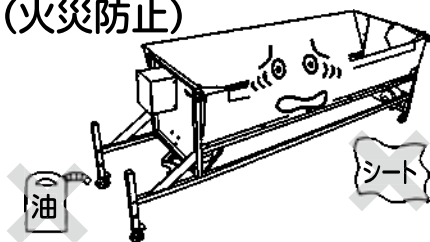
漏電ブレーカー付で、アース接続のされてあるアース付4Pコンセント使用



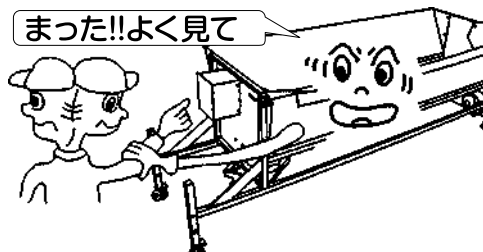
電源コードの延長はプラグ、コンセントで接続
(感電・火災防止)



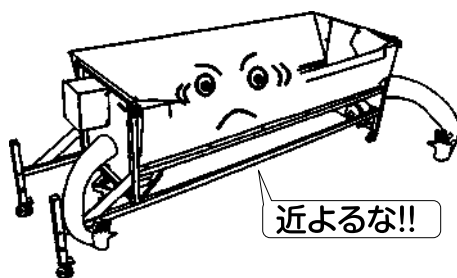
モータやコントロールボックスの近くに燃えやすいものを置かない
(火災防止)



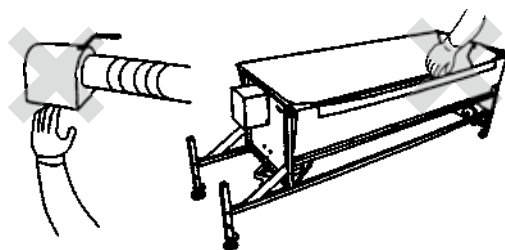
周囲の安全を確認してからスイッチON



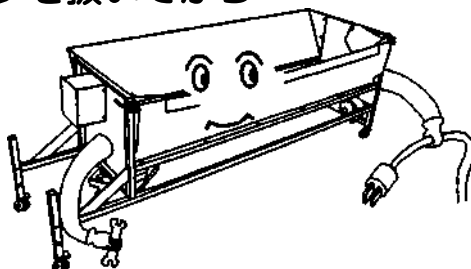
運転中は人を近づけない



運転中はホッパ・排出口に絶対手を入れない

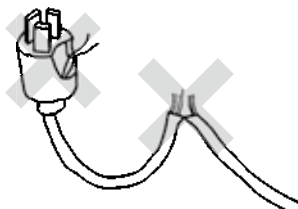


点検はスイッチを切り、プラグを抜いてから

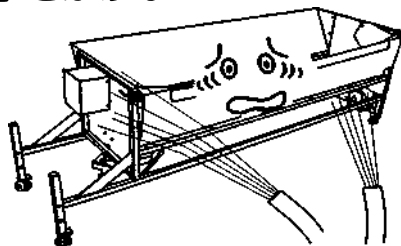


⚠ 安全のため必ずお守りください

コードやプラグがいたんだら
すぐに交換
(感電・火災防止)



モータやコントロールボックス
に水をかけない



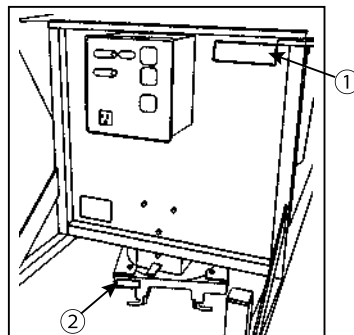
使用前に安全ラベルをよく読む

- ダンプホッパ、直結バネコンには次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

① 品番 22132-3115-1

⚠ 注 意

1. 安全に作業するために、必ず取扱説明書をよく読んで機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。
2. 取扱説明書がない場合は購入店に連絡し、取寄せてください。



② 品番 22184-3113-1

⚠ 警 告

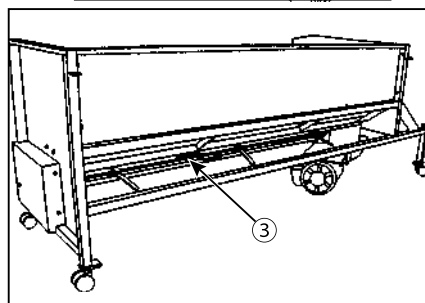
中に回転物がありケガをするので、
手をいれないこと。

22184-31131

③ 品番 22142-3112-1

⚠ 注意 下のスクリュースを開けたまま回転しないこと。
スクリュに巻き込まれケガをすることがあります。

22142-3112-1

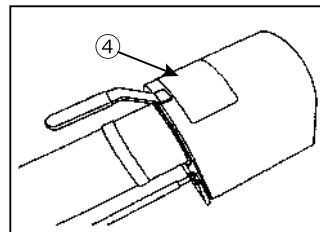


④ 品番 22731-4113-1



⚠ 警 告

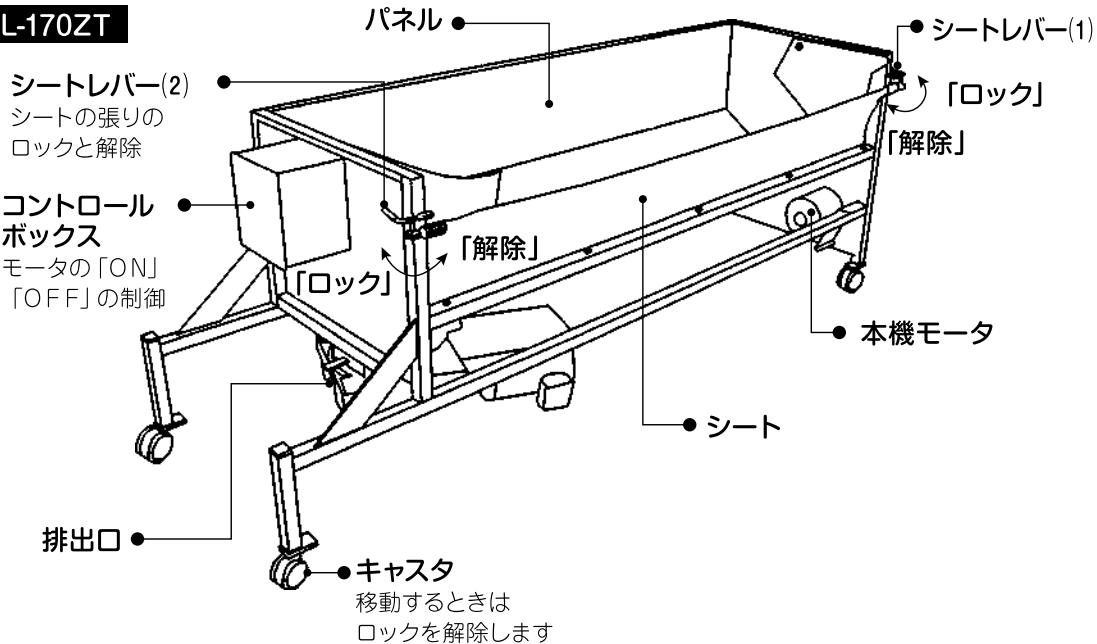
1. 排出口には絶対に手を入れないこと。
2. ワラクス等の堆積を去除する時は必ず、電源コードを抜いてから行うこと。運転中は一時停止しても又すぐに回転し、危険です。



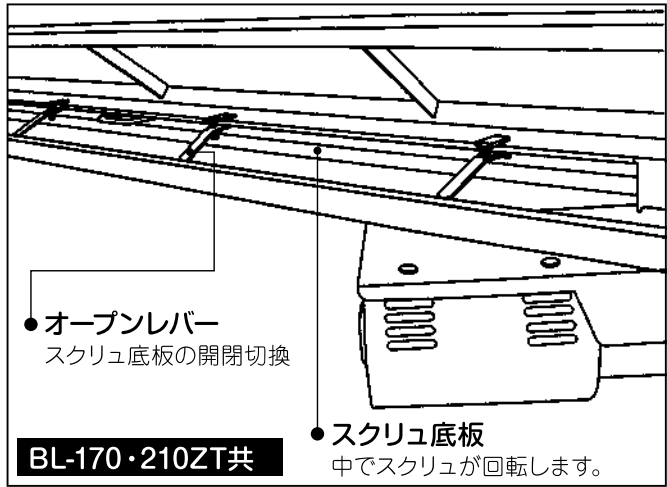
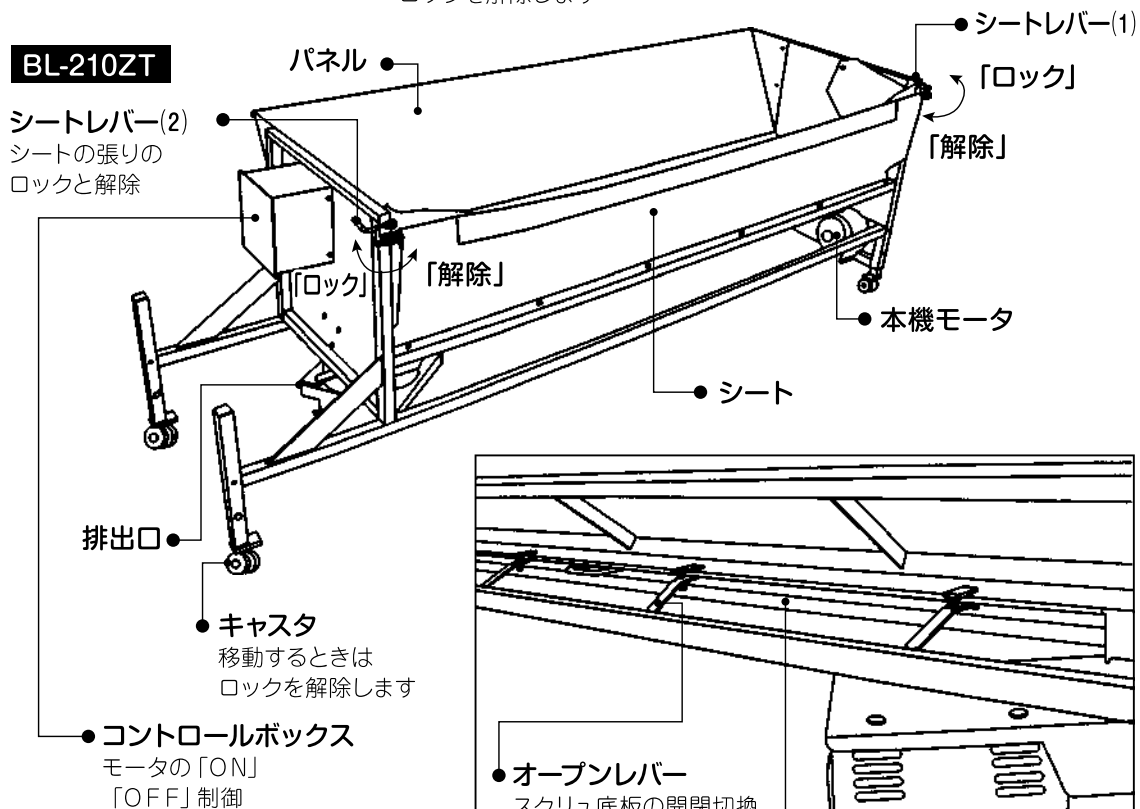
- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルが貼付けされている部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

各部の名称とはたらき

BL-170ZT



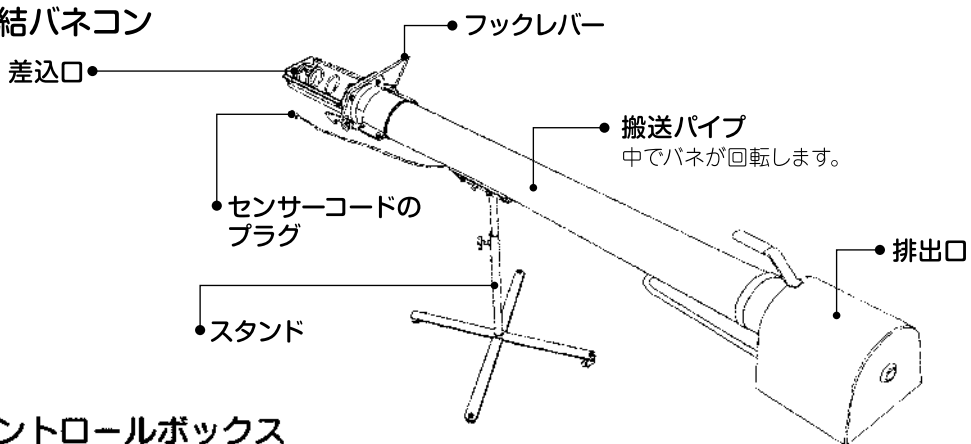
BL-210ZT



BL-170・210ZT共

各部の名称とはたらき

■直結バネコン



■コントロールボックス

自動コントロール…… あふれ防止センサーにより、排出口がもみで一杯になるとモータが停止し、もみが少なくなると自動的に運転を再開します。空転防止センサーにより、ホッパのもみがなくなるとモータが停止します。

●電源スイッチ

「ON」を押すと電源ランプが点灯し、ホッパ内のもみセンサーがもみを感知すると約5秒後にモータが回転します。

●停止スイッチ

「OFF」を押すとすべての運転を停止します。

●電源ランプ

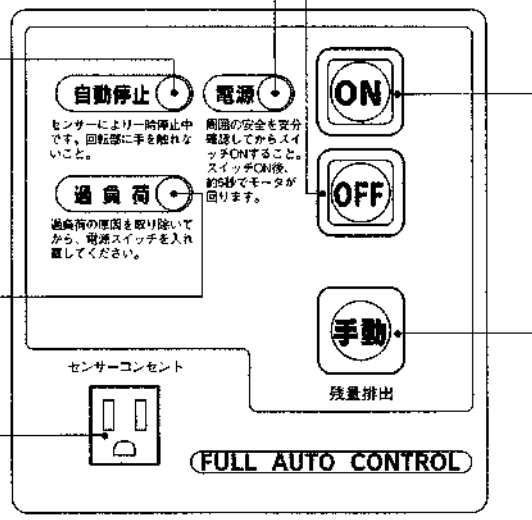
電源スイッチがON(入)になっていると点灯します。

●自動停止ランプ

運転中にセンサーが作動して、モータが一時停止している間点灯します。

●過負荷ランプ

モータ保護のため、定格以上の過電流が流れるとモータが自動停止し、ランプが点灯します。再起動は過負荷の原因を取除いてランプが消えてから、再度電源スイッチ「ON」を押します。



●センサーコンセント

直結バネコンのセンサーコードのプラグを差込みます。

●手動スイッチ

残留もみを排出するとき使用します。センサーの作動に関係なく、押しているときだけモータが回転します。

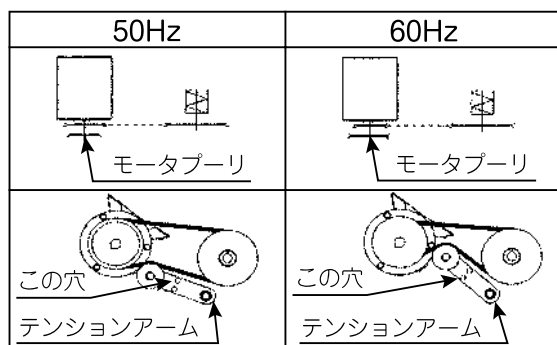
使用前の準備

警告

●準備作業は必ず電源コードのプラグを抜いた状態で行ってください。

1. モータプーリとテンションスプリングのセット
50Hzと60Hz地区では、モータプーリのセット方向、及びテンションスプリングのセット位置が下図のように異なります。使用前にモータプーリのセット方向を確認し、自地区に合致していない場合は次の要領でセットし直してください。

- ①モータプーリを逆向きにセットする。
- ②テンションスプリングのテンションアーム側引っ掛け位置を図の位置に移動する。

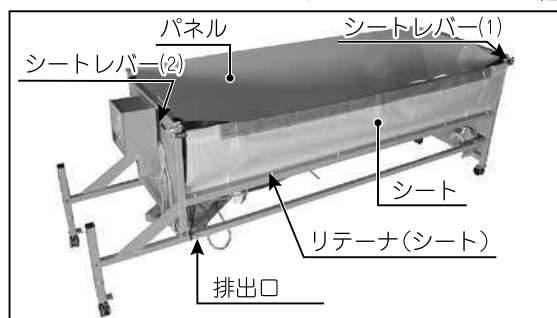


重要

●モータプーリ、及びテンションスプリング引っ掛け穴位置は必ず地区に合った状態で使用してください。周波数が合致しないと詰まったり、搬送能力が低下します。

2. シート、シートレバー(1)、(2)、パネルの組換え
出荷時はシート側（こく粒投入側）から見て左側に排出口がありますが、作業形態に合わせて向きを変更（右側に排出口）出来ます。

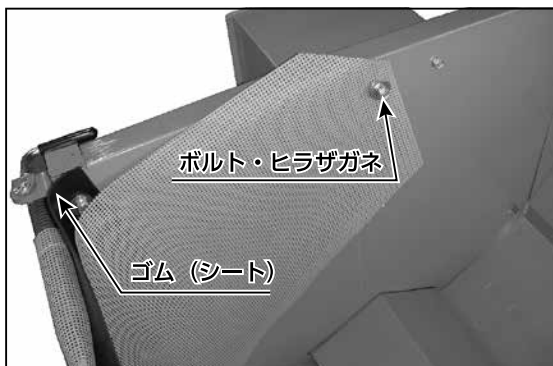
- ①パネルを外します。
M6×20ボルト …………… 9個
- ②シートを押さえているリテーナ（シート）を外します。
M6×20ボルト …………… 5個



③ホップ内のシートを押さえているボルト、ヒラザガネを外します。

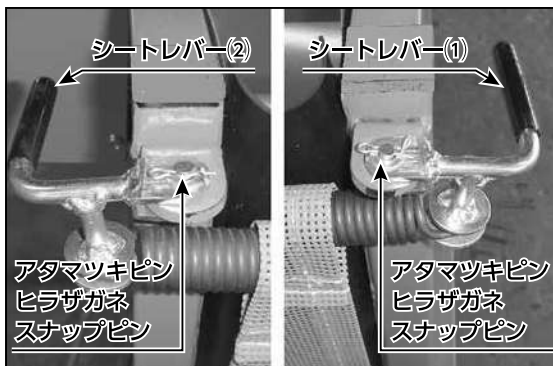
M6×20ボルト …………… 2個
M6ヒラザガネ …………… 2個

- BL-210ZTは上記のほかにもゴム（シート）を外します。
M6×20ボルト …………… 4個

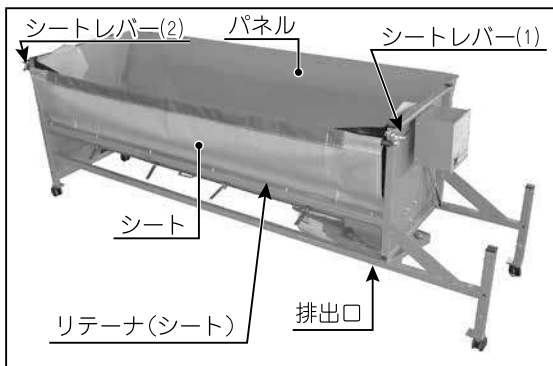


④シートレバー(1)、(2)を外します。

φ6アタマツキピン …………… 2個
M6ヒラザガネ …………… 2個
スナップピン …………… 2個

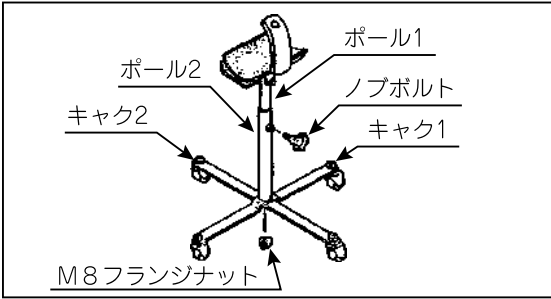


⑤組付け箇所を変え、逆の順で取付けます。



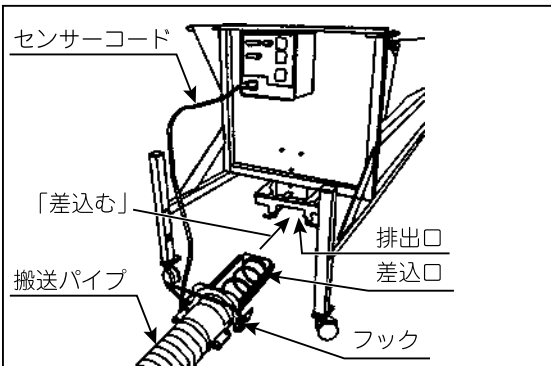
3. スタンドの組付け **DB-30・40・50・65・80Z**

- ①ポール2のネジ部をキャク1とキャク2の中央部に入れ、ナットで固定します。
M8フランジナット …………… 1個
- ②ポール1をポール2に差込み、ノブボルトで固定します。
M8ノブボルト …………… 1個

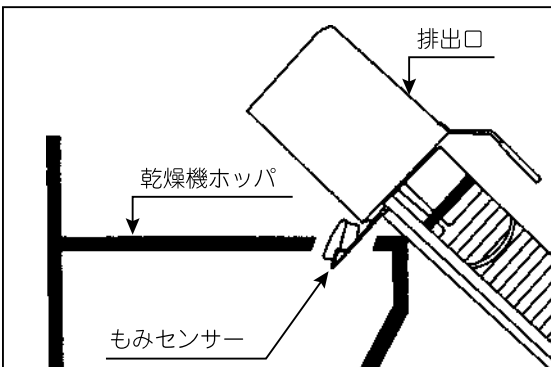


4. 直結バネコンのセット

- ①差込口をダンプホッパ排出口にフックが引っ掛かるまで差込みます。
- ②センサーコードのプラグをセンサーコンセントに差込みます。



- ③直結バネコンの排出口を乾燥機ホッパにセットする。もみセンサーがホッパ上面より上に出ないようにスタンドで支えます。



重要

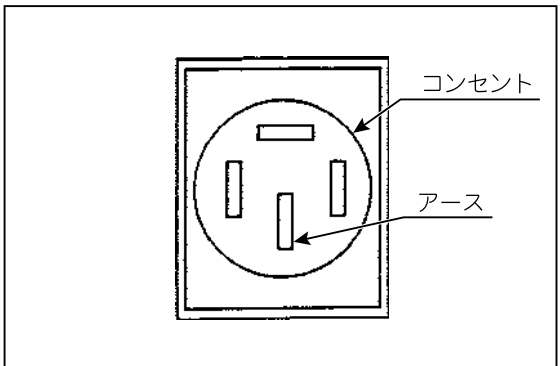
- もみセンサーがホッパ上面より上へ出るとセンサーが作動せず、もみがホッパ外へあふれ出る場合があります。
- 搬送パイプは急に曲げないで出来るだけ自然な状態で設置してください。(曲げ半径1.5m以下の急な曲げ方は絶対しないでください。)
- 搬送パイプを角に当てないでください。角に当てると早期に損傷します。

5. 電源盤の確認

警告

- 電源盤のコンセントはアース付4P (必ずアース接続がされていることを確認のこと) を使用してください。電源盤には漏電ブレーカを必ず取付けてください。これらが設置されてないと、感電や漏電のおそれがあります。
- 電源コードを延長して使用する場合は、必ず2.0mm²以上のコードを使用し、接続はプラグ、コンセントを使用してください。2.0mm²未満のコードを使用したり、コード同士を直接接続しますと、コードが過熱し、ショートや火災のおそれがあります。

- ①電源は三相200Vを使用します。
- ②コンセントはアース付4Pで20Aサイズを使用します。
- ③電源盤のブレーカ及び漏電ブレーカの容量は20A以上必要です。



重要

- 電気配線工事は、電気設備技術基準関係法令・規則に従って必ず「法的有資格者」(電気工事士)が行なってください。

6. 作業前の作動確認と回転方向の確認

警告

- カバー類は必ず取付けてから行なってください。
- スイッチを入れるときは、周囲の人々に合図をして、安全をじゅうぶん確認してください。
- ツメクラッチ部には絶対に手を触れないでください。

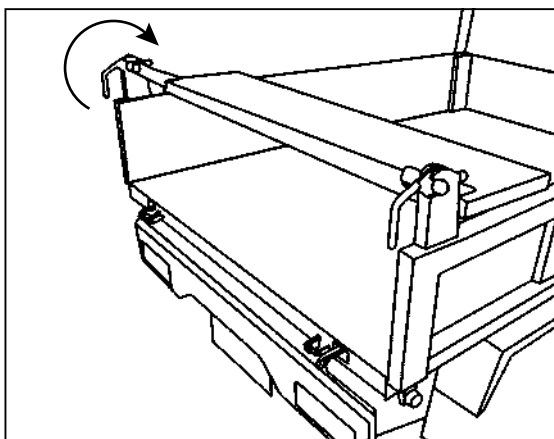
作業前に作動確認をされる場合は、次の要領で確認してください。

- ①電源コードの差込プラグを電源コンセントに差込む。
- ②電源スイッチ「ON」を押します。（自動停止ランプは点灯するが、モータは回転しない。）
- ③手動スイッチを押し、押ししているときだけモータが回転すれば正常です。
- ④回転方向の確認
回転方向が回転マークに合っているか確認してください。もし回転が逆の場合は、差込プラグのところで2線（緑を除く）を入れ替えてください。

7. シュートキットの組付け

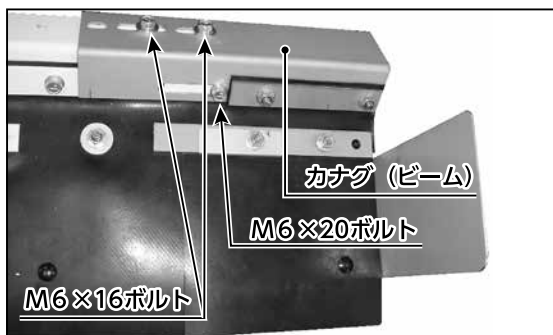
BL-170ZTのみ

シュートキットの工場出荷時幅寸法は1380mmです。軽四ダンプカーの荷台内幅寸法で組付け方が異なります。シュートキットの組付けは、軽四ダンプカーのリヤゲートを下開きさせて持ち上げ、落下しない状態にします。

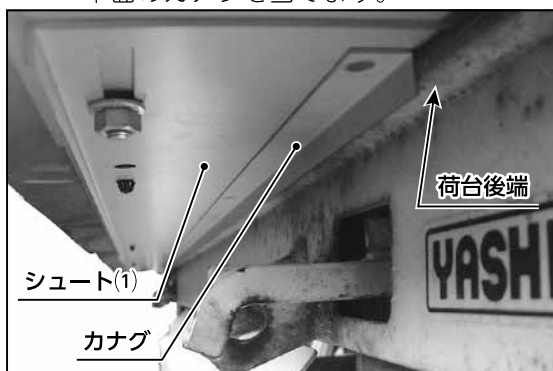


(1)荷台内幅1380mmの場合

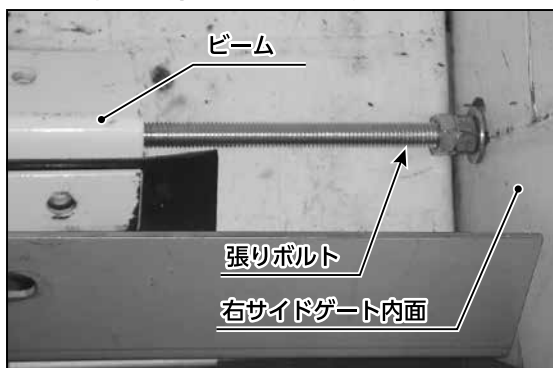
- ①カナグ（ビーム）を固定しているボルトを外します。
M6×16ボルト……………2個
M6×20ボルト……………1個



- ②軽四ダンプカーの荷台後端にシュート(1)下面のカナグを当てます。



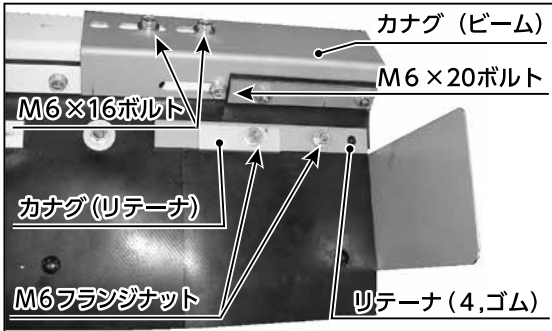
- ③ビームを上から荷台に押付けながら張りボルトを回して、右サイドゲート内面に張りボルト先端を強く押付けます。組付け後、確実に固定されていることと、荷台にしっかりと密着してすき間のないことを確認してください。



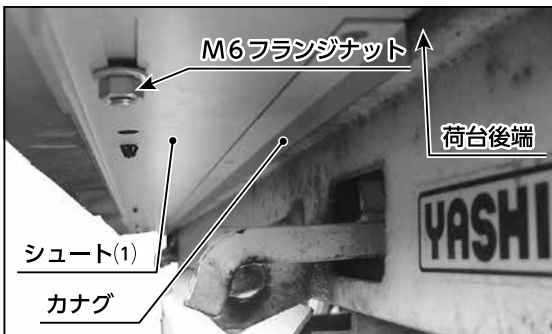
- ④カナグ（ビーム）の側面を右サイドゲート内面に密着させて組付けます。
M6×16ボルト……………2個
M6×20ボルト……………1個
また、シュート（スライド）と右サイドゲート間にもみぎが通過するすき間がないか確認してください。すき間が大きい場合は、9ページ(2)⑥の手順ですき間を狭くしてください。

(2)荷台内幅1410mmまでの場合

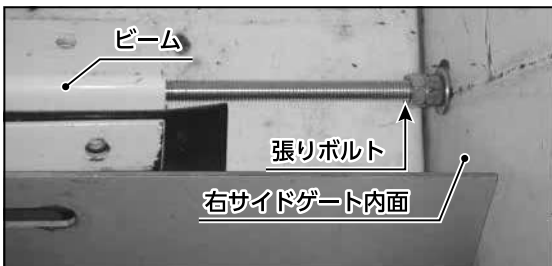
- ①カナグ（ビーム）を固定しているボルトを外します。
 M6×16ボルト…………… 2個
 M6×20ボルト…………… 1個
- ②カナグ（リテーナ）及びリテーナ（4，ゴム）を止めているナットを緩めます。
 M6フランジナット…………… 2個



- ③シュート(1)とシュート（スライド）を止めているM6ナット（裏側）を緩めます。
 M6フランジナット…………… 1個
- ④軽四ダンプカーの荷台後端にシュート(1)下面のカナグを当てます。



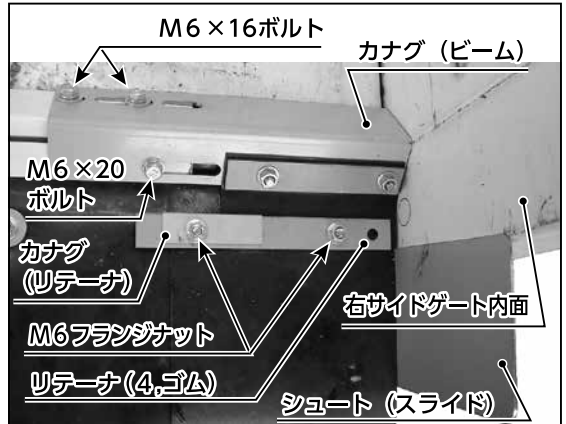
- ⑤ビームを上から荷台に押付けながら張りボルトを回して、右サイドゲート内面に張りボルト先端を強く押付けます。組付け後、確実に固定されていることと、荷台にしっかりと密着してすき間のないことを確認してください。



- ⑥シュート（スライド）の端面が荷台右サイドゲート内面に沿うように調節し、カナグ（ビーム）の側面を右サイドゲートに密着させて組付けます。②、④で緩めたナットを締付けます。このとき、リ

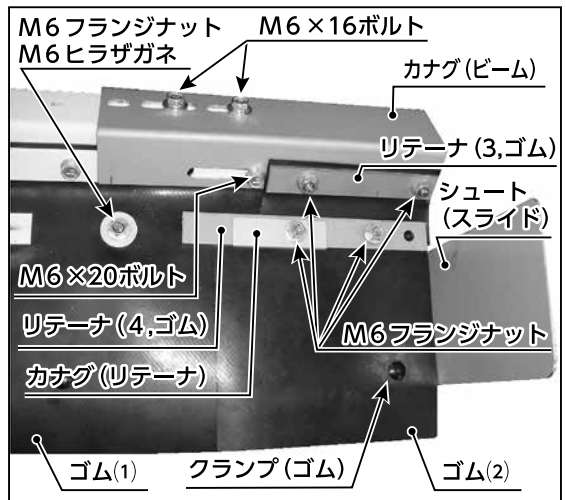
テーナ（4，ゴム）の長穴が見える場合はカナグ（リテーナ）を外して向きを変えて組付けると長穴が隠れます。

- M6×16ボルト…………… 2個
- M6×20ボルト…………… 1個
- M6フランジナット…………… 3個



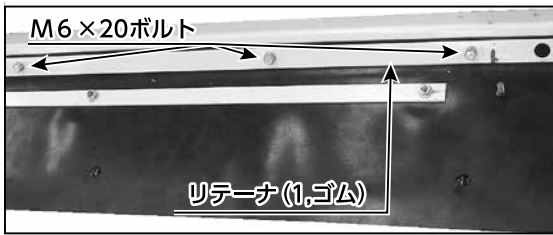
(3)荷台内幅1300mmの場合

- ①カナグ（ビーム）、カナグ（リテーナ）、リテーナ（3，ゴム）及びリテーナ（4，ゴム）を外します。
 M6×16ボルト…………… 2個
 M6×20ボルト…………… 1個
 M6フランジナット…………… 4個
- ②クランプ（ゴム）を外し、ゴム(2)を外します。
 クランプ（ゴム）…………… 1個
- ③シュート（スライド）を外します。
 （ナットは裏側にあります。）
 M6フランジナット…………… 1個
- ④ゴム(1)を止めているM6ナット及びヒラザガネを外します。
 M6フランジナット…………… 1個
 M6ヒラザガネ…………… 1個



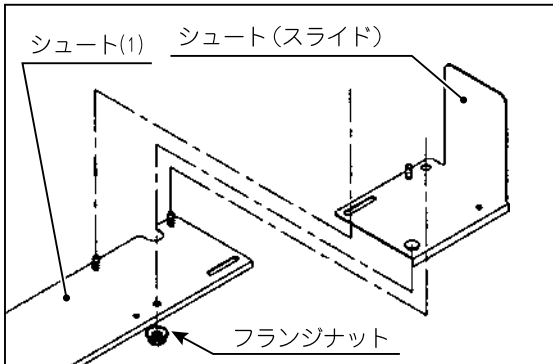
- ⑤リテーナ（1，ゴム）を止めているボルトのうち、右から3本を外します。

M6×20ボルト …………… 3個



- ⑥ゴム(1)をめくりながら、シュート(1)にシュート（スライド）を組付けます。

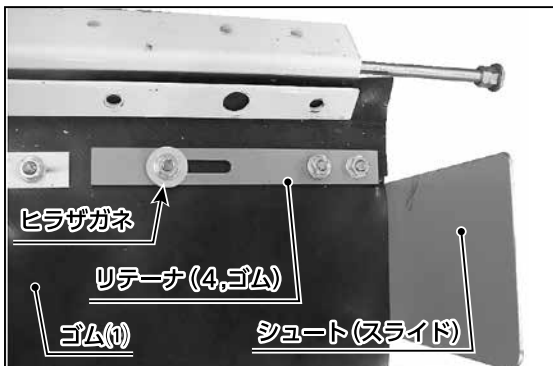
M6フランジナット …………… 1個



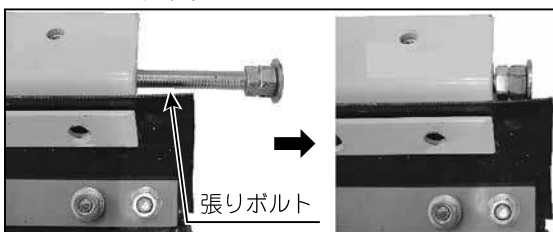
- ⑦ゴム(1)をシュート（スライド）に、リテーナ（4，ゴム）で組付けます。リテーナ（4，ゴム）の長穴部にはヒラザガネを使用します。

M6ヒラザガネ …………… 1個

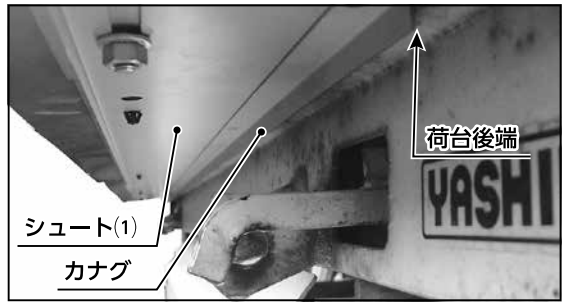
M6フランジナット …………… 3個



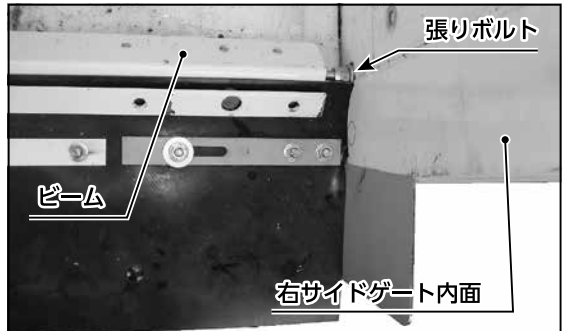
- ⑧張りボルトを回してボルトの出代を最少にします。



- ⑨軽四ダンプカーの荷台後端にシュート(1)下面のカナグを当てます。



- ⑩ビームを上から荷台に押付けながら張りボルトを回して、右サイドゲート内面に張りボルト先端を強く押付けます。組付け後、確実に固定されていることと、荷台にしっかりと密着してすき間のないことを確認してください。



- ⑪カナグ（ビーム）の側面を右サイドゲート内面に密着させて組付けます。⑤で外したボルトも組付けます。

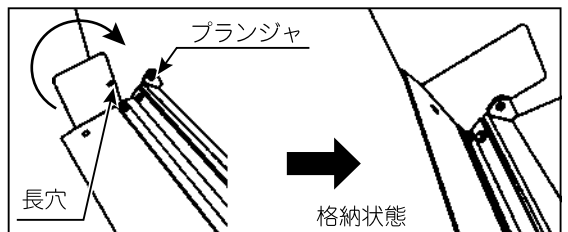
M6×16ボルト …………… 1個

M6×20ボルト …………… 3個

また、シュート（スライド）と右サイドゲート間にもみが通過するすき間がないか確認してください。すき間が大きい場合は、9ページ(2)⑥の手順ですき間を狭くしてください。

8. シュートキットの格納

荷台幅寸法に合った組付け後、シュートキットを荷台内側に折りたたみ、シュート側面の長穴をプランジャの先端に引っ掛けます。



補足

シュートキットを装着すると軽四ダンプカーのリヤゲートの動きが渋くなる場合があります。このようなときは、ゲートの支点部に注油してください。

9. 機体の高さ調節

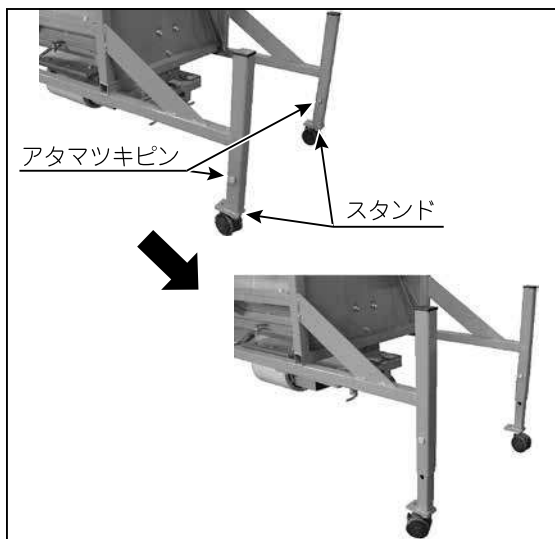
BL-210ZTのみ

出荷状態は低床2 t ダンプカー用の高さになっております。ダンプカーが高床の場合は、機体を100mm上げてください。

警告

- 高さ調節する場合、ジャッキなどで機体を上げる際は落下しないようにじゅうぶん注意してください。

スタンドのアタマツキピンを外し、機体を持ち上げてスタンドの上の穴と機体穴を合わせ、アタマツキピンで固定します。



重要

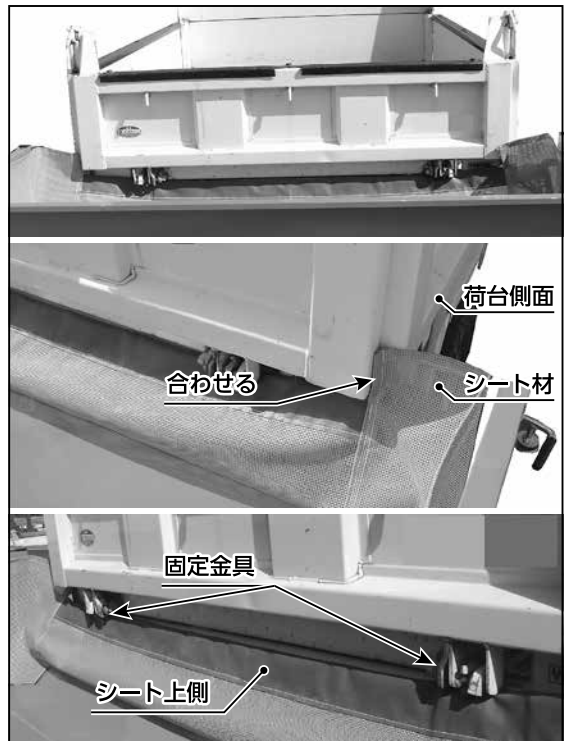
- 高さ調節はこく粒が入っている状態ではおこなわないでください。機械が変形・破損するおそれがあります。

作業のしかた

危険

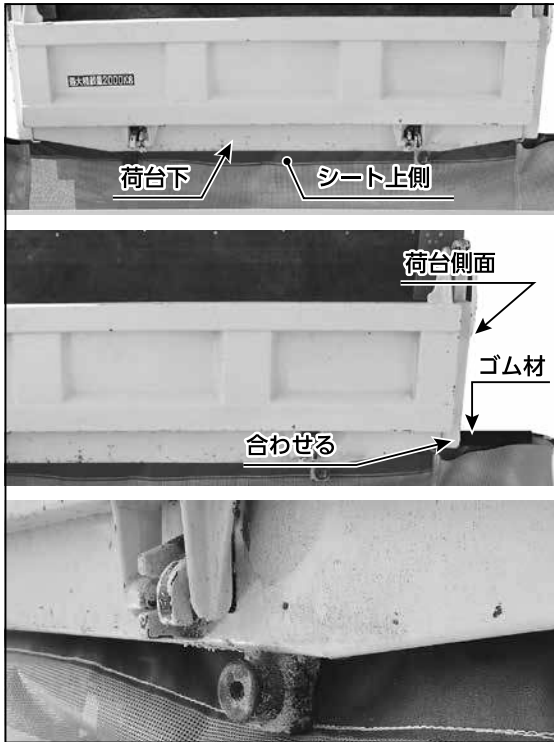
- 運転中は排出口やホッパ内に絶対に手を入れないでください。センサーで一時的に回転が停止しても、すぐに回り出し、大変危険です。
- 運転中は周囲に人を近づけないでください。特にお子さんには注意してください。
- 運転中に異常が発生した場合は、すぐにスイッチを切り、電源コードを抜いてから点検してください。
- 機械から離れるときは必ずスイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 電源コードのプラグはプラスチック製のため、落下などの衝撃で破損するおそれがあります。取扱いにはじゅうぶん注意してください。もし破損した場合は、すぐに部品を交換してください。そのまま使用しますと感電、漏電、火災の危険があります。

1. ダンプカーを機体ギリギリまで接近させ、最後に本機を移動して位置を合わせます。
2. **BL-170ZT**
両サイドのシート材の端面を荷台側面に合わせ、シート上側をリヤゲート固定金具の下側に引っかけます。



BL-210ZT

両サイドのゴム板端面を荷台側面に合わせ、シート上側を荷台下の内側に入れ込みます。



重要

- シートは突起部などに当てないように注意してください。

補足

- シートはシートレバー(1)、(2)を解除すると楽に押下げることができます。荷台の下に当たった後は、ロック位置に必ず戻してください。
3. ダンプカーの荷台をゆっくり上げ、リヤゲートが開いた時点でいったん停止します。
 4. 電源コードの差込プラグを電源盤のコンセントに差し、コントロールボックスの電源スイッチ「ON」を押します。

警告

- スイッチを入れるときは補助者や周囲の人に合図をして、安全をじゅうぶん確認してください。
 - もみセンサーがもみを感知すると、約5秒でモータが回ります。
5. 本機ホップ内のもみセンサーがもみを感知して自動的に運転を始め、もみが少なくなると自動的に停止します。排出口にももみセンサーがついていますので乾燥機のホッ

パが一杯になるとモータが停止し、もみが少なくなると自動的に運転を再開します。

6. もみの流れに応じて、荷台を少しずつ上げていきます。一気に上げるともみの機外飛散につながります。
7. 最後に残ったもみ（残留もみ）は手動スイッチを押して排出します。
8. 排出が完了したら、停止スイッチ「OFF」を押し、電源コードの差込プラグを抜きます。
9. シートレバー(1)、(2)を解除し、シートを下げてフックなどに引っかからないようにします。

BL-170ZTのみ

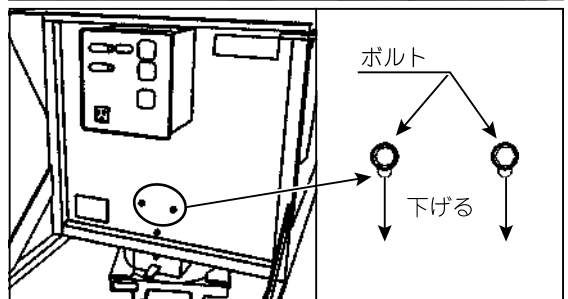
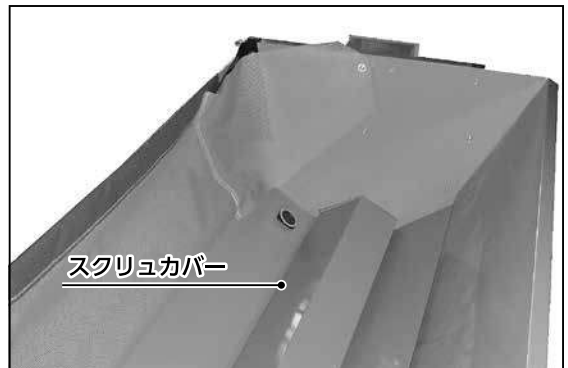
10. シュートキットを装着している場合は、荷台を降ろす前にシュートキットを格納位置にします。

危険

- 排出が完了したら、必ずスイッチを切り、電源コードの差込プラグを抜いてください。そのままでは誤ってスイッチを押され、ケガをするおそれがあります。

補足

- 高水分の小麦などにより、過負荷でモータが自動停止し過負荷ランプが点灯する場合は、スクリュカバーを下げて隙間を調節し、排出量を少なくしてください。



ボルトを緩めてスクリュカバーを下げます。(左右共)

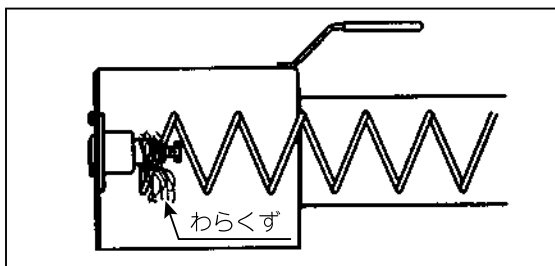
メンテナンス

警告

- 点検は必ずスイッチを切り、電源コードの差込プラグを抜いてから行ってください。

清掃

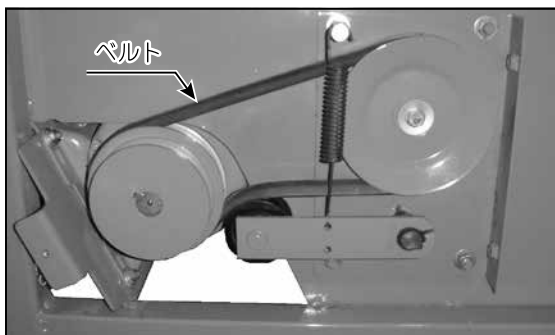
作業前に排出口のバネにからまっているわらくずなどを取除いてください。



重要

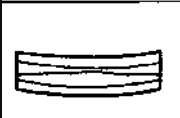

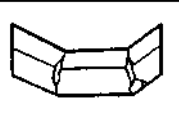
- 排出口のバネにわらくずが大量にからまると搬送能力が低下するだけでなく、搬送パイプが損傷する場合があります。

ベルトの点検

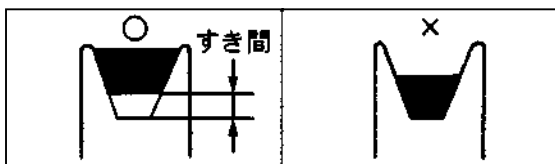


ベルトを点検するときは、下記の事項をよく確認してください。

1. ベルトの焼付きや摩耗、被覆のはがれ、き裂やひび割れ。

焼付きや摩耗	被覆のはがれ	き裂やひび割れ
×	×	×
		

2. ベルトの底部とプーリ



左記の事項を確認したとき、異常があればベルト交換を行なってください。ベルトの交換は購入先へ連絡して行ってください。

プラグ、コードの点検

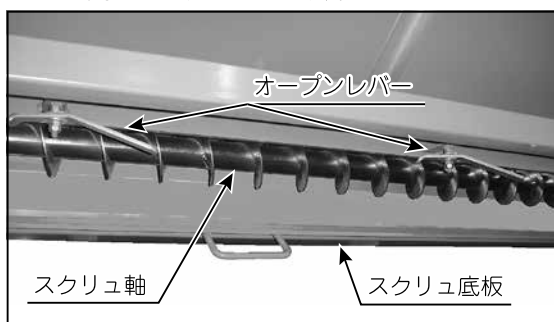
プラグやコードが損傷していないか点検してください。

警告

- プラグやコードが損傷した場合は、すぐに交換してください。そのまま使用すると感電、漏電、火災の危険があります。

長期格納のしかた

1. オープンレバーを解除して、スクリュ底板を開き、残留もみを取除いてください。



2. 搬送パイプ内の残留もみやバネにからまったわらくずなどをきれいに取除いてください。
3. 直結バネコンの排出口と差込口部のバネに、油を薄く塗布してください。
4. 機械は風雨のあたらない、ごみのない乾燥した場所に保管してください。もし、戸外におく場合は雨水がかからないようにシートでおおってください。特に電装部には絶対水が入らないようにしてください。保管中は、特にお子さんが近づかないように注意してください。

重要

- もみ、わらくずが残っていると、ネズミの巣となり、コードなどがかじられて次の年の作業に支障をきたすことがありますから、きれいに除去してください。
- バネが錆び付くと、バネ強度が低下します。
- 電装部品には、水をかけないでください。

不調の原因と処置

⚠ 警告

- 点検・調整をするときは、必ずスイッチを切り、電源コードの差込プラグを抜いてください。

現象	原因	処置	参照ページ	
モータが回らない	電源ランプが点灯しない	三相200Vの電源がきていない	電源、差込プラグの点検（注1）	P 7
		電源スイッチが入っていない	電源スイッチ「ON」を押す	P 12
	電源ランプが点灯 （手動スイッチを押すと正常に回る）	ホッパ内にもみが定量入っていない	定量以上入れる	
		もみセンサーの故障	もみセンサーの交換	P 15
		タイマーの故障	タイマーの交換	
電源ランプが点灯 （手動スイッチを押してもモータ回らず、またはうなる）	電源側三相のうち一相欠相	電源、差込プラグの点検（注1）		
過負荷ランプ点灯	過負荷保護機能が作動した（サーマルリレーが作動）	原因を取除く（注2）		
もみを送らない	回転方法が反対	正規回転にする	P 8	
詰まる	Vベルトがスリップ	ベルトの点検	P 13	
	異物の混入	異物の除去		
	搬送パイプの曲がり小さすぎる（曲げ半径1.5m以下）	もみを除去し（注3）曲げ半径を1.5m以上にする		
	60Hz地区で50Hz仕様で使っている	60Hz仕様にする	P 6	
乾燥機ホッパからもみがあふれてしまう	センサーコンセントにパネコンのセンサーコードのプラグが差込まれていない	プラグを差込む	P 7	
	もみセンサーとセンサーコードの接続部がはずれている	確実に接続する		
	もみセンサーの故障	もみセンサーの交換	P 15	
	排出口がホッパより上がっていてもみセンサーが作動しない	排出口を下げる	P 7	

注1. ネズミなどの害によりコードが断線、短絡、漏電する場合がありますので、作業前に各コードをじゅうぶんに点検してください。

注2. 異常負荷がかかるとモータ保護のため、自動的にモータが停止し、過負荷ランプが点灯します。原因として60Hz地区で50Hz仕様のまま使っている場合、または、わら、異物の混入、高水分の小麦、搬送パイプの曲げかた、配線などの不具合が考えられます。じゅうぶん点検し、原因を取除いたうえ、過負荷ランプが消えるのを待って、再度電源スイッチ「ON」を押してください。

注3. 搬送パイプをダンプホッパから取外し（ロックを解除し引抜く）、中央部を高く持ち上げ、パイプを外からたたくようにして入口側と出口側にもみを排出してください。

仕 様

■ダンプホッパ

型 式	BL-170ZT	BL-210ZT
全 幅 (mm)	2210	2655
全 高 (mm)	550	875 (低床) 975 (高床)
ホッパ有効内幅 (mm)	1708	2098
全 重 量 (kg)	121	152
搬 送 能 力 (t/hr)	最大18	
使 用 電 源	三相 200V	
モータ	ホッパ (kW)	0.75
	パネコン (kW)	2.2
適応パネコン	DB-30~65Z	DB-30~80Z
排 出 角 度	330°	
適 応 ダ ン プ	軽四ダンプカー	2tダンプカー
適 応 穀 物	稲・大麦・※小麦	

※小麦に使用する場合の適応パネコンはDB-30~65Zです。

■直結パネコン

型 式	DB-30Z	DB-40Z	DB-50Z	DB-65Z	DB-80Z
有 効 長 (m)	3.0	4.0	5.0	6.5	8.0
重 量 (kg)	16.5	20.0	23.0	28.0	32.5
スタンド(個)	1	1	1	2	2

オプション

■スタンド

DB-Zの搬送パイプを支えるキャスター付のスタンドです。

適 応 機 種	品 番	品 名
DB-Z全機種	22844-0000-0	スタンド (F-1)

■シュートキット

軽四ダンプカー用の排出シュートです。

適 応 機 種	品 番	品 名
BL-170ZT	22627-0000-0	BL-170Z用キット

消耗部品

型 式	品 番	品 名	備 考
BL-170ZT	22184-1121-1	シャフト (スクリュ)	
BL-210ZT	22626-1121-1	シャフト (スクリュ)	
BL-170・210ZT	22625-1123-1	Vベルト	SB又はLB-28
	22159-3121-1	スポンジ (200)	
	22184-1149-1	クッション (プレート)	
BL-170・210ZT DB-30~80Z	22875-3142-1	モミセンサー	a接点
DB-30Z	22767-1123-2	ハンソウパネ	
	22803-1126-1	パイプ (ハンソウ)	
DB-40Z	22744-1123-1	スプリング (ハンソウ)	
	22804-1126-1	パイプ (ハンソウ)	
DB-50Z	22768-1123-2	ハンソウパネ	
	22805-1126-1	パイプ (ハンソウ)	
DB-65Z	22742-1123-1	ハンソウパネ	
	22806-1126-1	パイプ (ハンソウ)	
DB-80Z	22745-1123-1	スプリング (ハンソウ)	
	22807-1126-1	パイプ (ハンソウ)	

安全説明確認カード

説明者（販売店・農協）控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名

印

販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。	
3. 電源盤のコンセントはアース付4P（アース接続がされていること）を使用すること。	
4. 漏電ブレーカを必ず取付けること。	
5. 電源コードを延長する場合は、プラグ、コンセントを使用すること。	
6. モーターやコントロールボックスの周辺に燃えやすいものを置かないこと。	
7. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。	
8. カバーを外したり、開けたままでは絶対にスイッチを入れないこと。	
9. 運転中は周囲に人を近づけないこと。	
10. 運転中は排出口の中に絶対手を入れないこと。	
11. 運転中はホッパの中に絶対手を入れないこと。	
12. 運転中に異常が発生したときは、すぐにスイッチを切り、電源コードを抜くこと。	
13. 機械から離れるときは、必ずスイッチを切り、電源コードを抜くこと。	

【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整はスイッチを切り、電源コードを抜いてから行なうこと。	
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。	
3. 電装品には水をかけないこと。	

安全確認一覧表

基本事項

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

作業について

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。
3. 電源盤のコンセントはアース付4P（アース接続がされていること）を使用すること。
4. 漏電ブレーカを必ず取付けること。
5. 電源コードを延長する場合は、プラグ、コンセントを使用すること。
6. モータやコントロールボックスの周辺に燃えやすいものを置かないこと。
7. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。
8. カバーを外したり、開けたままでは絶対にスイッチを入れないこと。
9. 運転中は周囲に人を近づけないこと。
10. 運転中は排出口の中に絶対手を入れないこと。
11. 運転中はホッパの中に絶対手を入れないこと。
12. 運転中に異常が発生したときは、すぐにスイッチを切り、電源コードを抜くこと。
13. 機械から離れるときは、必ずスイッチを切り、電源コードを抜くこと。

点検・格納について

1. 点検・調整はスイッチを切り、電源コードを抜いてから行なうこと。
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。
3. 電装品には水をかけないこと。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



株式
会社

齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南1丁目1番10号
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 22628-5111-3